

当院における骨盤うっ血症候群と診断された 5 症例の治療経験と 漢方療法の効果の考察

1. 研究の対象

2016 年 4 月から 2026 年 3 月に当院で骨盤うっ血症候群の診断で治療を受けた患者

2. 研究目的・方法

骨盤うっ血症候群 (pelvic congestion syndrome; PCS)は慢性骨盤痛の原因の一つです。治療としてホルモン療法や漢方療法、外科的治療、血管内治療などが挙げられますが、疾患自体が過小評価されており質の高いエビデンス構築が困難であるため治療方法が確立していないのが現状です。当院では過去 10 年間に 5 症例の PCS 患者に対して治療を実施しておりました。本研究の目的はそれらの症例の経過及び転機を後方視的に検討することで、今後の PCS 治療のエビデンス構築への足掛かりとすることです。

研究期間は研究機関の長の実施許可日～2026 年 12 月 31 日を予定しています。

利用又は提供を開始する予定日 2026 年 8 月 1 日～

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢・身長・体重などの基本情報および既往歴、内服歴、妊娠経過、治療経過等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所： 大阪府大阪市住吉区万代東 3-1-56

電話番号： 06-6692-1201

担当者； 産科・婦人科 京橋ゆらな

研究責任者：

大阪急性期・総合医療センター 産科・婦人科 八木太郎